祝

文化十一戌年初冬日

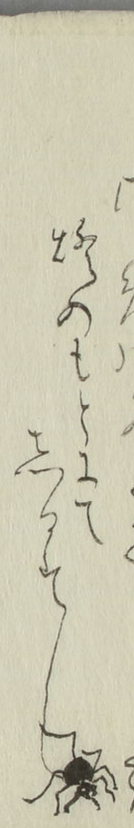
物部敏文再拝

中

イ 4
2178
207(2)

門 イ4
號 2478
巻207(2)

AAPAN



忘れ草 [illegible]
[illegible] 新小 [illegible]

後徳 [illegible]
[illegible]

七二町 [illegible]

堂武神家

[illegible]
八清和院 [illegible]
院の向 [illegible]

常盤井

[illegible]
小 [illegible]
[illegible]
名号

[illegible]
[illegible]

汲於き

[illegible]

永福門院
内侍

[illegible]

天満宮

[illegible]
奉先の額 [illegible]

玉水井

[illegible]

神明社

[illegible]

遠江守

後鳥羽院

[illegible]

大江之家

[illegible]

和文

拾芥抄云

新拾遺集 撰者為明 勅撰之事仰定家卿二条
三月十一日内々被仰武家事同十六日和哥所
左條宮御門弟武家以行忠奏被送綸旨
被撰者云

新拾遺集 撰者為明 勅撰之事仰定家卿二条
三月十一日内々被仰武家事同十六日和哥所
左條宮御門弟武家以行忠奏被送綸旨
被撰者云

我なくて八重ふく風の
おとのみや秋のものとは
庭死後被行也

我なくて八重ふく風の
おとのみや秋のものとは
庭死後被行也

山津照

山津照

千載

久安百首　崇徳院御製

六首

ふるさとや昔なしとも人とはん
　うつもれる屋の久我の私

門

いとゞやもうつもれる屋の久我の私
　あるかなきかも紅葉のみや

淀

所々後拾

ひさかたの久方淀の松の緑庵
　はるめをはうとくとくとも私

風雅

久方人と淀まんとも緑庵
　もくもるみや淀の川あ

所々

久月あかし影心淀てもおりて

淀

続古今

秋ぶかき霧を松原うき波の
　沖の小島に鳴く鶴の声

淀渡

秀衡の河岸大船こぎ渡し
　いそぐ人をも一流のうち

大波もうき舟渡しして舟渡し

法師ばし橋無詞

如月のあかつき長き夢にまどろみて
　淀をさすらふ舟のうたかた

てふよりもはかなきものは夢路にて
　とまりもさだめぬ淀の川舟

みるほどのうたかたばかりとしふれど
　うき世の淀をいかでわたらん

下略

八情山十二景

徳山霊社　落雁瑞雲　石山清泉
磯嘯要月　玉台楼雪　滝野斜照
狐川征帆　伏澤（フシサハ）落雁　難波漁唱
山家晴嵐　姫我暮鐘　如山（アリヤマ）暁月

東都　貝原篤信　識

○扨も此度かくの人の貴き御筆にて八仙人の地形編もうけしまゝの地形編もうけしまゝにいまゝ拙き筆にて写しなどいと恥かしくおもへども此度の官長房よりの御望みなれば

すまゝにかき写しぬ　されど此のあまのはしだてのみまことの仙人のすみ給ふ山のみなれば此の八仙人のすみ給ふ山のみにはあらねどもむかしより此の山にすみ給ふ仙人のおはしますよしなどいひ伝へたれば

富小路西三位貞直卿　山荘

同序

○汐合

須磨須磨小古

この浦もむかしかけろふ名所
物ごとのやまと言もおろそう須磨の浦

苦師西行庵

花のもやあるーー世をうむ芦屋
なろうえ[illegible]の[illegible]や苑[illegible]
みちのくもおよおよれておもいきや

檀原四都

このあたりもと[illegible]芦原し

住吉汐干

[illegible]ちう汐干の人

花洛

うら日ぐれ都のあるみのもとにうたう

○杉風

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鷲湖

焼抜山

富士

無極齋画

御餞別

俳諧之百韻

○